

農業用
植栽用
施設園芸用



登録番号生第80749号

ダイヤパークとは、木材樹皮を長期堆積発酵させた
最も理想的な土壌改良材です。

有機質土壌改良に!
肥効増進に!



パーク堆肥とは

- ①木材の樹皮を粉碎したものが主な原料です。
- ②粉碎樹皮に、発酵促進剤等を添加して好気性高温発酵させたものです。
- ③本発酵(高温発酵)期間堆積中5~6回切返しを実施し、さらにそのあと十分に熟成したものです。

厳しい品質基準をクリアした、高品質の土壌改良資材です

ダイヤパークは、日本パーク堆肥協会で定めた適正な品質基準に基づいて製造されています。樹木の樹皮を主材料としているため、微生物に対する安定性が高く、重金属等有害物質汚染の心配もありません。パーク堆肥は土壌に同化し、植物の生育ならびに土壌改良に高い持続効果をあげることが報告されています。

化学肥料と農薬で土地は老化しています

長い間、化学肥料だけにたよって栽培していると、やがて土地はコチコチに固くなり、地力が低下し土地の老化をまねきます。植物の育成をさまたげるばかりでなく、病害虫にもおかれやすくなります。肥料を与えても流出が大きく効果が有りません。堆肥には有効微生物が増殖され、地力のないやせた土地も若がえらせ、肥沃な土地を作ります。

パーク堆肥の特性

- ①土壌の団粒化を促進し、好ましい腐植土壌を作ります。
- ②陽イオン交換容量が高くなり、保肥力を増します。
- ③保水性、透水性が高くなり、植物を乾燥から守ります。
- ④植物の生育と作物の味覚に必要な微量元素を含んでいます。
- ⑤有用微生物を多量に含み、土壌病害の発生を防止し、植物の活力を高めます。
- ⑥粒度が均一化されているため、容易に機械で投入散布できます。
- ⑦耐久性が強く、効果が持続します。

病害虫の予防にも役立ちます

排水・保水・通気・保温と植物に最適な条件を与えることにより、病害虫に対する抵抗力をつけ、無農薬栽培にたえる力をつけるのも堆肥の役割です。

●発売元

ダイヤバークの粒度

ダイヤバークは、粒度を15m/mで筋分けしています。

ダイヤバークの施用法

全ての作物に基肥として（肥料と混合も可）定植または播種の2週間前迄に、なるべく根園に施用するよう心がけて下さい。

全面施用の場合は、土とよく混ぜ合わせて下さい。ダイヤバークにリン酸（骨リン等）を併用すると、なお一層の効果を発揮します。

ダイヤバークの施用量

施 用 分 野	施 用 量	摘 要
1 普通畑・ハウス・温室	3～5kg/m ²	全面散布・耕起・作条に施用
2 果 樹	新 植	植穴容積の30%
	成 木	3t/10a
3 水 田		0.5～1t/10a
4 茶 園	新 植	7～10kg/m ²
	成 木	2～3t/10a
5 鉢 物		鉢容積の20～50%
6 芝	目 土	3～5kg/m ²
	グリーン造成	40～60kg/m ²
7 葉 た ば こ 本 圃		1～1.5kg/m ²
8 苗 畑		3～5kg/m ²
9 緑 化 樹 移 植		5～50kg/株
10 樹 勢 回 復（老木等）		2～5t/株
11 屋 外 庭 園		20～30kg/m ²
	花 壇	全面混合
12 法 面 緑 化	施工基準による	他資材と混合

※バーク堆肥製品の仮比重（容積重）は0.5（5%以内の許容範囲をみる）です。

※堆肥を培養土・床土とする場合は、灌水設備を設けてください。

バーク堆肥の品質基準【日本バーク堆肥協会】

項 目	有 機 物 （乾物）	全窒素(N) （乾物）	全リン酸 (P ₂ O ₅) （乾物）	全カリ (K ₂ O) （乾物）	炭素率 (C/N比)	P H	塩基置換容量 (CEC) （乾物）	水 分
	70%以上	1.2%以上	0.5%以上	0.3%以上	35以下	5.5－7.5	70me/100g 以上	60±5%

※全窒素、全リン酸、全カリは参考表示とする。

JAN 49 84969 010019

製 造 元

日本バーク堆肥協会会員

松栄産業株式会社

本 社 〒700-0944 岡山市泉田26-11 ☎(086)233-5104(代)
営業本部・工場 〒702-8013 岡山市飽浦1515-1 ☎(086)267-3186

http://www1.odn.ne.jp/~shoei_okm/